

第3編 基本計画

■基本計画の構成と特徴

基本計画は、基本構想で掲げた基本目標ごとに構成されています。

各基本目標は、目標を達成するための政策分野ごとに「現状と課題」、「今後の施策の方向」、「成果指標」及び「関連個別計画」により構成されています。

【基本計画の構成】

基本目標1

まちづくりは人づくり 生涯にわたる学びのまち
(教育・文化)

政策 (1) 学校教育の充実

■現状と課題

●**キャリア教育の推進**
自分が将来どのように生きていくかを考えることは、「生きる力」、ひいては社会性をはぐくむことに繋がります。自分の個性を理解し、社会の中での役割等を考える中で自分らしい生き方を選択する能力や態度を育てることを目的とした「キャリア教育」は、学校教育全体を見直す中で行われる必要があります。
甲斐市では、各校において年間指導計画を作成して各教科・道徳、職場体験など特別活動の関連を図りながら系統性を意識したキャリア教育の取り組みを推進してきました。
① 今後は、それぞれの発達段階にふさわしい内容や方法によって、体系的で計画的なキャリア教育をさらに推進していく必要があります。

●**豊かな心の育成**
家族形態の変化により、地域の繋がりが希薄になりつつある現代においては、家庭や地域の教育力の低下が進んでいます。また、高度情報化の進行に伴い、人や自然と直接触れあふ機会は乏しくなっています。
甲斐市では、道徳教育の充実、教育ボランティアとしての地域の人材の学校現場での活用、子どもたちの体験学習や読書活動の充実に取り組んできました。また、いじめや不登校、問題行動への対策として、教育全般を通して人間関係を形成する力や自己肯定感の育成、規範意識の向上を図るとともに、未然防止・早期対応に努めてきました。
② 今後はさらに、家庭・地域・学校の結び付きを強め、道徳教育の指導内容の充実や教員の指導力向上を図るとともに、文化芸術に触れる機会の拡充を通じ、子どもたちの豊かな人間性や社会性をはぐくむことが重要です。

■今後の施策の方向

① **キャリア教育の推進**
小学校での職場見学、中学校での職場体験等、発達段階に応じたキャリア教育を行い、小中連携による一貫した進路指導を推進します。
② 県教育委員会が開催する研修会などを通じて、教員のキャリア教育指導力の向上に努めます。

また、広報により、家庭・地域のキャリア教育についての理解を深め、職場見学、職場体験受け入れ先の多様化、見学・体験内容の充実を図ります。

② **豊かな心の育成**
道徳教育への理解が得られるよう、土曜学校、市民の道徳授業を地域に公開し、甲斐市の豊かな自然や伝統・文化に関する学習の機会を設けることで、郷土に対する理解を深めるとともに、愛着や誇りをはぐくむ取り組みを推進していきます。
読書活動を取り入れた授業の充実、親子読書の呼びかけなど読書活動を推進します。
スクールカウンセラーを活用し、不登校・いじめの未然防止や改善及び解決を図ります。また、市生徒指導担当者を活用して情報交換を行い、問題行動の早期発見や迅速な対応に努めます。

●**成果指標**

達成目標指標	現状値 (平成26年度)	平成32年度 目標値	平成37年度 目標値
甲斐市学校評価・児童・生徒用アンケートにおける「将来の夢や希望をもっていますか」の設問に「しっかりと持っている」「持っている」と回答した児童・生徒の割合	小 89.4% 中 73.2%	小 90.0% 中 80.0%	後年設定
【山梨県新体力テスト・健康実態調査】で小学5年生と中学2年生のボール投げや50m走など8種目の数値を得点化した体力合算点(80点満点)	小 53.9点 中 48.6点	小 55点 中 45点	後年設定

※平成32年度目標値は、「甲斐市創甲斐教育推進大綱（後期）」の平成31年度目標値を示した。平成37年度目標については、次期大綱策定時に設定予定。
（※1）の「不登校児童・生徒の割合」
（※2）の「国語の授業の内容がわかる割合」はすでに現状値が目標値を超えているため後年改めで設定予定。

●**関連個別計画**

計画名	計画期間
甲斐市創甲斐教育推進大綱 後期	平成27年度～平成31年度
小・中学校施設整備計画	平成27年度～平成31年度

①現状と課題	政策を具体化するうえでの現状と今後解決すべき課題です。
②今後の施策の方向	課題を解決するための取り組みの方向です。
③成果指標	政策を推進するための数値目標です。 原則として平成26年度の現状値、平成32年度・平成37年度の目標値です。
④関連個別計画	政策と関連する個別計画です。

「成果指標」は甲斐市の望ましい将来像の実現に向けた目標を、行政だけでなく市民や事業者、NPOやボランティア団体などが共有していくための指標として活用していくことが期待されます。

なお、将来この総合計画に掲げる施策や事業を具体的に推進していくため、各政策の関連個別計画との連携・調整を図るものとします。

例

●成果指標

達成目標指標	現状値 (平成26年度)	平成32年度 目標値	平成37年度 目標値
地域で開催する各種健康づくり教室への参加者数	1,326人	1,350人	1,500人

前期基本計画の
目標値です。

後期基本計画の
目標値です。

例

●関連個別計画

計画名	計画期間
甲斐市第2次健康増進計画「健やか かい21」	平成25年度～平成29年度